



## **デジタル・ヘルス・サミット**

デジタル・ヘルス・サミットは、テクノロジーとヘルスケアを結びつける消費者向けイノベーションで成長著しい市場を、ターゲットにしています。急速に拡大するこの分野は、結果を改善して、大きなビジネスチャンスとなるだけでなく、伝統的なヘルスケアの枠を出て病院の外で使用する画期的なテクノロジーと消費者向け製品へと動いています。

**2011年1月7日（金曜日）**

**開会および基調講演**

**8:30-9:30 a.m.**

**軍から民へ：TATRCはmHealth（モバイル・ヘルス）と遠隔医療の限界に挑む**

アメリカ軍の遠隔医療応用研究センター（Telemedicine and Advanced Research Center : TATRC）は、予備調査から総合プログラムまで、モバイル・ヘルスと遠隔医療の分野では群を抜いています。基調講演でロン・ポロパッチ副大佐が、消費者向けテクノロジーの基礎となる最新イノベーションと、それをどのように民間分野に活かしていくかをお話しします。

**デジタル・ヘルスは生活に浸透しているか？**

**9:30-10:30 a.m.**

医療費は増え続け、効果的なシステムを求める声が高まる中、デジタル・ヘルスは一つの大きな解決策となっています。最前線の業界リーダーたちが、デジタル・ヘルスがどのようにヘルスケアの展望を変え、消費者の生活を良くするのか、話し合います。お金も大切ですが、健康はもっと大切です。

**デジタル・ヘルスケア・システムにおける遠隔監視の役割**

**10:30-11:30 a.m.**

社会の高齢化は進み、慢性病を抱える人が8億6千万以上もいる現在、健康を維持するためには健康管理に関するテクノロジーがとても大切です。遠隔医療機器と通信技術があれば、別の市に住む担当医に糖尿病を管理してもらったり、健康データを見てもらったりして、患者が自分の健康の主導権を握れるようになります。

### **あなたの手に医師を：モバイル・ヘルスの可能性を探る**

11:30–12:30 a.m.

アメリカ人10人中8人近くが、モバイル機器を通じて健康サービスを得たいと思っています。そして、そう考える人は増え続け、消費者の要求に応えようとする開発者は張り切っています。しかし、多くの疑問が残ったままです。誰が規制を作るのでしょうか？誰が費用を負担するのでしょうか？また、狙い通りのサービスを提供しているのでしょうか？

### **デジタル・ヘルス・ランチ・パネル：ワイアレス・ヘルスの将来を垣間見る**

12:30–1:30 p.m.

ワイアレス・ヘルスの現状から見ると、将来は有望です。Qualcommとそのビジネス・パートナーが、次世代のワイアレス・ヘルスについて話し合います。関係者ならではの話が聞けるでしょう。

### **ゲーム、フィードバック、現金：健康を維持するインセンティブは本当に有効か？**

1:30–2:30 p.m.

新しい改革プログラムでは、プランをずっと続けければ報酬を約束しています。奨励金や、糖尿病管理ゲーム、スマートフォンを使うリアルタイムの健康フィードバックは、生活習慣を本当に変えることができるのでしょうか？目の前にニンジンをつぶら下げるのが、なぜ、どのように効果的なのか、専門家から聞きましょう。

### **壁のない病院：新しいテクノロジーは医療の壁を取り払う**

2:30–3:30 p.m.

従来の医療は、すでに過去のものになりつつあります。1マイル離れた所にいる担当医と面と向かって、たとえ離れていても同じ治療を受けられるなどと、誰が信じたでしょう？新しい医療の形は、入院を減らし、患者の出費を抑えることができます。非常に効率のよい新しいテクノロジーは、ヘルスケアの形を変えます。

### **デジタル・ヘルスを変えるのは、誰だ？**

3:30–4:00 p.m.

ここでご紹介するのは、デジタル・ヘルスの流れを変えるような、2011年のテクノロジー、製品、サービスです。これらのイノベーションが導いてくれる新しい世界を、ぜひお見逃しなく。

### **消費者の衝撃：QOLのケーススタディ**

4:00–4:30 p.m.

健康や病気の管理について、暮らし方を大きく変えQOLを改善する新しいテクノロジーを見てみましょう。どのようにテクノロジーが消費者に大きな利益をもたらすか、事例に沿って、3つの企業が説明してくれます。

### **閉会と基調講演**

#### **モバイル・ヘルスと健康の今日と明日**

4:30–5:30 p.m.

血圧測定用カフ、遠隔サービス、携帯電話など、モバイル・ヘルスケアはサービス提供者にとっては大きな目的であり、消費者にとっては大きな要求です。どのようにモバイル・ヘルスケアを進めているか、次の計画は何か、なぜ大切なのかについて、コンティニューア・ヘルス・アライアンスのメンバーがお話しします。